

令和2年12月 斐伊川水系水質情報

令和2年12月(宍道湖:8日・中海:3日採水)						単位:mg/l(Chl-a: µg/l)				
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.0	△	平年並み	4.5	×	やや高い	4.1	△	平年並み
全窒素	上層	0.42	△	平年並み	0.43	△	平年並み	0.49	△	平年並み
全リン	上層	0.049	△	平年並み	0.067	×	やや高い	0.057	△	平年並み
Chl-a	上層	24	△	平年並み	29	×	やや高い	21	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,840	×	やや高い	12,400	×	やや高い	9,240	△	平年並み
	下層	3,870	×	やや高い	15,700	△	平年並み	12,400	△	平年並み
溶存酸素	上層	11.3		平年並み	10.4		平年並み	13.0		平年並み
	下層	11.0		平年並み	7.2		やや高い	11.2		やや高い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.3	横ばい	3.6	上昇	3.7	横ばい
全窒素	上層	0.53	やや下降	0.35	やや上昇	0.44	横ばい
全リン	上層	0.068	やや下降	0.060	横ばい	0.061	横ばい

宍道湖の透明度は1.5mから1.3mとやや下降。中海の透明度も2.5mから2.0mとやや下降。
米子湾の透明度は先月と同様に2.1mと横ばいになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

↑	★	<非常に高い>
↑	☆	<かなり高い>
↑	×	<やや高い>
↑	△	<平年並み>
↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 前月値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

前月値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%